

先祖代々この地に住んでいる人、最近この地が気に入って移り住んだ人、いずれもが明るく、楽しく、豊かな町でありたいと願うことは同じであると思う。

流れの早い現代を先人の知恵、新住民の知恵を出し合い、より良い町にしなければと思う。そ



宮沢文雄さん(桜ヶ丘)

今回、試みとしての「住民参加型」の未来会議を通して、住民が行政の営みの一端を担う(「住民自治」というかすかな光が先の方に見えました。そして、「そこに」・・・というより「そこにしか」富士見の未来はないのではないのでしょうか。

です。この心配を表す言葉に、「衆愚政治」という言葉があります。一般の住民(＝大衆)は「愚か者」であって、自分たちの代表を選挙で選ぶことはできても、自らを統治する能力は持たないとする考え方です。しかし、住民の側から見ると、そういった自治能力を身につけるためにこそ、学習の機会としての実践が必要なのです。

ご協力ありがとうございました。皆様方のご提案やお気持ちを大切にしながら、未来につづく町づくりを進めてまいります。

第四次富士見町総合計画は、その計画策定の過程を大切に、高齢化、人口減少、地方交付金等の税収の減少、富士見パノラマスキー場の財政負担増等の危機的な状況を背景として、住民と行政職員が一丸となって、自立を計る羅針盤であることを認識し、計画策定を進めていたいただきたいと願っております。



三好吉仁さん(富士見)

今回は当然町民全体の意識のこともありますが、私は選挙で選ばれた町長、議会議員の皆さんも、目先のことはかりではなく、先頭に立って将来に向けた大きなビジョンを持ち、大いなるリーダーシップを発揮してほしいと思う。

今回この会議に参加し、大勢の皆さんの話しを聞かせてもらい、大変勉強になりました。

未来会議からの提言書

紙面の都合上、項目のみご紹介いたします。

ご提言の詳細は、役場、コミュニティ・プラザ、ふれあいセンター、清泉荘に印刷物を用意しました。また、町ホームページの「第4次総合計画/未来会議」をご覧ください。

住 民 参 加	住民参加の仕組み作りが必要	・地域担当職員の設置 ・住民をお客様ととらえ、サービス評価の仕組みを作る ・未来会議の常設化 ・住民参加基本条例の制定 ・町政を補完する区政 ・区の活動「小さな行政、大きな区政」 ・公民館活動を住民参加型とする
	身近なことから実施する真の住民参加	・地元をきれいにする運動の展開
	住民意識の向上	・町、行政情報をもっと知ってもらう方策が必要
	行政のリーダーシップが前提の住民参加	・全町的なまちづくりに関して、現状を一番理解しているのは行政当局である
少 子 化 対 策	家庭教育・生活を充実させ自立し心身ともにたくましいひとづくりを行う	・家庭教育の充実、支援 ・家庭環境、関係の改善 ・昔の子育てに戻す ・たくましく育てる教育 ・仲間づくりのなかで価値観の育成 ・地域による子育て支援
	経済的な支援の取組み 子育て家庭に対する支援	・町による経済的支援 ・若い世帯の定住化 ・3世代同居家族の推進
	社会環境整備による支援	・子育てサークルへの支援体制 ・育児施設・設備の充実(ソフト)
	子どもの安心・安全と子どもにやさしいまちづくり	・登下校の安全確保の強化
	人口増加対策としての結婚希望者支援、企業誘致、移住環境整備	・未婚、晩婚の解消は人口増加対策、少子化対策の第1歩であることを再認識する ・町の人口を増やす手法の検討 ・若い世帯の定住化(再掲)
	魅力ある学校教育の推進	・学校と地域の連携 ・学力重視から、志向性重視の教育へ ・授業内容の充実 ・教職員への支援
	未来会議と町教育委員会の関係	・教育委員会の「教育改革プラン2005」の実現を期待する
	小学校間のアンバランスを解消する	・通学区の見直し
	国策への提言	・年金の差別化事業 ・育児休業の拡大
健 康 福 祉	高齢者対策	・高齢者の生きがい対策 ・高齢者の健康管理 ・団塊の世代の高齢化対策 ・老人介護 ・介護予防の充実